

平成28年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT28116 医師になって病気を治そう！～感染症の診断、検査、治療から最先端の研究まで～



開催日：平成28年12月27日(火)
実施機関：東邦大学
(実施場所) (東邦大学医学部大森キャンパス)
実施代表者： 館田 一博
(所属・職名) (微生物・感染症学講座 教授)
受講生： 中学生 19名
関連URL： <http://www.toho-u.ac.jp/med/event/036616.html>

【実施内容】

<受講生に分かりやすく研究成果を伝えるために、また受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意・工夫した点>

感染症研究をそのまま伝えると難しいため「医師になって病気を治そう」というタイトルのもとに、模擬診療・検査を体験する中で感染症に興味を持ってもらい、さらに感染症研究にも興味を持ってもらえるようプログラムを編成した。特に、今回のプログラム内でのキーワードを「なんで?」「どうして?」という“気づき”を持つこととし、多くの学生が色々な疑問を持つよう実習内容、講義などを工夫した。

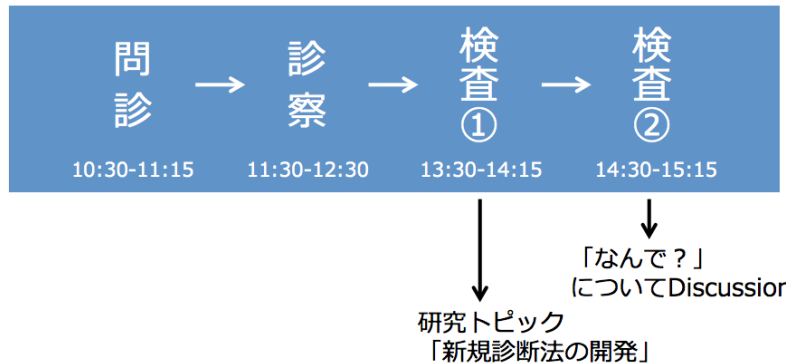
<当日のスケジュール>

9:45～10:00	集合 (T スクエア)
10:00～10:30	開講式 (第一実習室)
10:30～11:15	問診 (第一実習室) (問診票を使って模擬患者の病態を把握)
11:15～11:30	休憩
11:30～12:30	診察 (シミュレーションラボ) (血圧、血中酸素飽和度、視診、聴診)
12:30～13:30	昼休憩 (休憩後、研究室の紹介)
13:30～14:00	検査① (迅速検査キット (レジオネラ・肺炎球菌) の実施)
14:00～14:15	最新研究の紹介
14:15～14:30	休憩
14:30～15:15	検査② 3チームに分かれて病原体の染色 (グラム染色、抗酸菌染色、ヒメネス染色)
15:15～15:30	休憩+アンケート記入
15:30～16:00	ディスカッション (研究的思考について)、未来博士号の贈呈
16:00	解散

<実施の様子>

異なる病原体による肺炎のシナリオを3種類(肺炎球菌性肺炎、結核、レジオネラ肺炎)作成し、3グループに分けて実習を実施した。今回の募集対象者が中学生だったため、ディスカッションでの知識差が出ないように学年ごとに3グループに分けて実施した。それぞれのシナリオに対して1名の模擬患者を配置し、年齢や病歴なども変えることにより、同じ肺炎でも感染した病原体が異なると検査や治療法も異なることを体験してもらった。途中、「なぜ?」と考えてもらえるよう、実習や講義での工夫を行い、研究的思考力を養えるよう努力した。今回の工夫について、受講者からの意見としては概ね良好で、感染症全般にわたって興味を持ってもらえたものと考えている。

目的：“肺炎”を例に、医師として
問診～検査までの過程を体験してもらう



<事務局との協力体制>

事務局には当日までの事務一般、研究費の管理、郵便物の作成を分担してもらった。当日は雨も降っていたため、安全配慮、傘立ての設置、写真記録を担当してもらった。

<広報活動>

今回はひらめき☆ときめきサイエンスのHP上、および東邦大学のHP上から希望者の応募を行ったところ、募集開始当日から5日間で100名を超える応募があった。急遽募集を止め、希望者を志望動機などから選別したが、ここまでの応募数があるとは思わず多くの希望者を採用できなかったことが悔やまれた。

<安全配慮>

設備面：災害の際のルートの事前確認を行った。

実験面：学生19名に対し、スタッフを13名配置し、安全の確保を行った。

受講者の体力面：45分の実習(一部60分)に対して15分程度の休憩を入れた。

<今後の発展性、課題>

多くの学生が色々な疑問を持ち、積極的に質問してくれたことは、研究代表者の意図とするところでもあり最も良かった点である。実際に実施してみて感じたことは、想像以上に研究に興味ある学生が多かったことである。もう少し研究色の強い企画にしても良かったのかもしれない。これについては、次回実施する際の反省点としたい。

ひらめき☆ときめきサイエンス経由で申込みを受け付けたが、締切後にも複数の方から電話による問い合わせがあり、早めに締め切ることにするお叱りも受けた。設定された日付よりも早めに締め切ることにする注意書きも必要だったかもしれない。

【実施分担者】

木村 聡一郎：医学部・講師

石井 良和：医学部・教授

大野 章：医学部・講師

梶原 千晶：医学部・助教

山口哲央：医学部・助教

【実施協力者】 7 名

【事務担当者】

林 誠司 学事統括部・課長